

医工連携製品開発に必要な デザインの考え方・ デザイナーのショートプレゼン個別相談会

令和4年度
第1回医工連携事業
説明会の開催(6月24日)

令和4年度の最初の医工連携事業として、6月24日(金)に三条商工会議所会館4階の研修室を会場に、2年続けて延期となっていました、インダストリアルデザイナーの3名の方によるショートプレゼンテーションと相談会を開催しました。

参加者は約30名。まずは協同組合三条工業会新分野チャレンジ委員会(5月末より)の内山航洋委員長より開会の挨拶がありました。

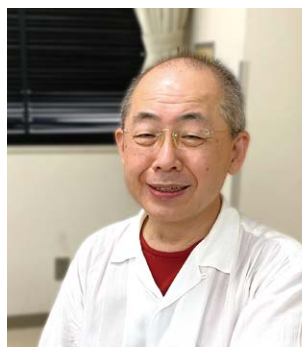


坂野様が経験された医工連携事業における製品開発の難しさは、医師や看護師だけの力で開発製品の良否が決まるものではなく、そこにデザイナーや製造者の力も加わり、課題を解決できる製品開発につながっていくという点が印象に残りました。同じプロジェクトに参加する者が、それぞれの専門分野の経験や技術を持ち寄り、課題解決のどのように寄与できるのか、そしてその解決策をどのように普遍化できるのかが、最終的な開発製品の価値に繋がるのではないかとのお話でした。

Presentation 1

HIROYUKI SAKANO DESIGN

坂野博行デザイン室

坂野 博行


最初のお話は、坂野博行デザイン室の坂野博行様より、ショートプレゼンテーションが開始されました。

Presentation 2

ID/Product&Graphic design

スマイルデザイン

小林 浩一


2番目のお話は、スマイルデザインの小林浩一様のショートプレゼンテーションでした。その内容は、市場分析の必要性和その内容、その市場分析から導かれる製品の造形デザイン等でした。機能とデザインの関係は一般的な話題ですが、医工連携事業における製品開発でも重要な点であるとともに、基本的な考察ステップを着実に進めていくことの大切さを説明されました。

(裏面へ)

Presentation 3

FORM
CONCEPT DEVELOPMENT
& DESIGN

株式会社 フォルム
代表取締役社長

松本 有



3番目のお話は、株式会社フォルムの代表取締役社長である松本 有様のショートプレゼンテーションでした。松本様のお話は、医工連携事業で開発される製品は、他の一般的な分野、例えば日用生活用品などと比べるとデザインなどが異なるように考えられるが、そのようなことはなく、日用生活用品などの開発と同様に使いやすさや使い方の研究分析が重要であり、小さな点でも見逃さず、確認しながら開発を進める大切さをお話されました。

以上3名のデザイナーによるショートプレゼンテーションの後は、個別相談会となりました。それぞれのデザイナーの方に質問される方も居られましたし、一般的な医工連携事業に参加する場合の注意事項や開発製品の考え方等の内容について、医工連携事業の進捗を見守っている新潟大学の深谷特任教授へ質問する方もいました。



／ ご報告 ／

医工連携事業に参加する
企業数

82社

となりました。(2022年6月現在)



次回の医工連携事業の活動のご案内

三条商工会議所会館にて
医工連携事業の個別相談会を
3日間開催予定

7月29日(金)

8月 2日(火)

8月 8日(月)

ご参加されたい方や実施内容についてご質問がある方は、この紙面の最後にならされている連絡先へご連絡ください。

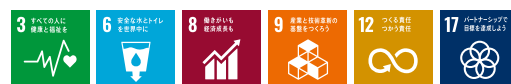
次のイコーレ7号は、10月のものづくりメッセへの出展とSDGsに関する講演会(予定)をご報告する予定です。



真の強さを学ぶ。
新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

【医工連携広報誌】問合せ先
新潟大学地域創生推進機構ビジネスプロデュース室
bp@ccr.niigata-u.ac.jp
<https://www.ircp.niigata-u.ac.jp/>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



持続可能な社会の実現を目標とするSDGs達成に向けて、課題解決に取り組んでいます。

協同組合 三条工業会 三条商工会議所 燕商工会議所

【協力】日刊工業新聞社 新潟支局